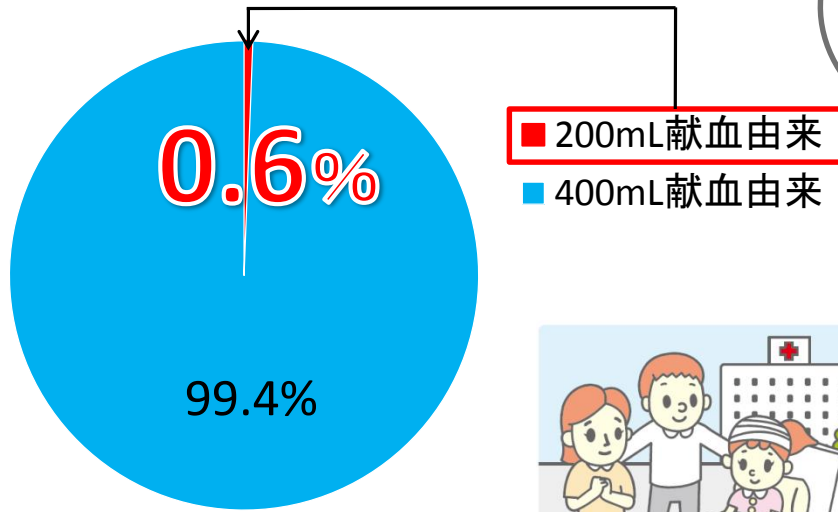


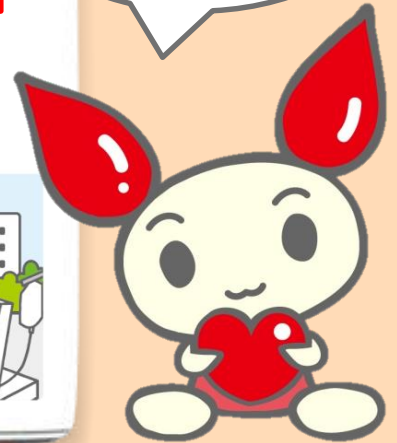
200mL献血由来の赤血球製剤の需要状況（京都府）



※平成27年度京都府内輸血用血液供給状況（単位換算）から算出。



200mL献血の 必要性について



平素より、献血にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、皆さまにご協力いただいている献血には、全血献血（400mL献血、200mL献血）と成分献血があります。全血献血のうち200mL献血由来製剤は、輸血対象の患者さんが小児、新生児、低体重の高齢者などに限られており、京都府では需要全体の1%以下と推計されています。

医療機関での必要数を大きく超える200mL献血をいただいた場合、有効期間（21日間）内に使用されない恐れがありますので、需要に見合った献血のご協力にご理解をお願いしております。つきましては、200mL献血の必要量が確保できた場合には、移動献血車及び各献血ルームにおいて200mL献血の受付を終了させていただく事があります。

【輸血の安全性を高めるために】

一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違ってきます。このため複数の献血者の血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用（発熱、発疹など）発生の可能性が高くなります。ご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

（例）800mLの輸血に必要な献血者数

